

リユースを活用した地域活性化に関する協定締結

10/31

**ヤ**フー株式会社との間で、「ヤフオク」を活用した地域活性化に関する連携協定を締結しました。今年度は、不要になった子育て用品を地域で循環させ再利用につなげる取り組みを実施予定。子育て用品に特化したのは全国初で、収益金は市内に無料で貸し出す絵本箱を設置する「小さな図書館」事業に充てます。



←協定を締結した条裕ヤフオクコミュニティマネージャー

応リユースを活用し、子育てを全国初の試み

認知症サポーター養成講座

10/20

**認**知症の正しい理解を深め、支援体制を充実させるため、園田市長をはじめ副市長や市職員が「認知症サポーター養成講座」を受講しました。講師に、貞松病院の村木先生をお迎えして講義を受講。市長が先頭に立って、認知症高齢者にやさしい地域づくりを目指します。



←受講が終了し、オレンジリングを着用

認知症を市全体で支えるために

ボートレース大村にエクストリーム広場オープン

11/6

**新**たなファン層の獲得を目指し、ボートレース大村にエクストリーム広場をオープンしました。場内のキッズ公園横の駐車場を改修し、約1,100㎡のスペースを整備。広場には、BMXやスケートボード用のランプ、ダンス用のミラー、バスケットゴールなどを設置し、バイクポロのコートとしても使用できます。



←オープニングイベントでは子どもたちも体験

全国から人が訪れる新しいポート場

高齢者の見守りに関する包括的連携協定締結式

10/27

**市**は、大村市医師会、大村東彼歯科医師会、大村東彼薬剤師会、大村市介護支援専門員連絡協議会の4団体と「高齢者見守りネットワーク活動の推進に向けた包括的連携協定」を締結。関係団体が協力して高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。



←包括的な連携を目指します

高齢者を見守り住みやすいまちへ

包括的連携に関する協定の締結

11/7

**長**崎大学との間で、包括連携協定を締結しました。これは、さまざまな分野で相互に連携・協力し、活力ある個性豊かな地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした、地方創生に向けた取り組み。調印式では、園田市長と片峰学長が協定書を交わし、今後の連携を確認しました。



←協定を締結した片峰茂学長

今後の連携の強化に向けて

県境における大規模交通事故対処訓練

10/31

**長**崎県と佐賀県の県境での事故に備え、「大規模交通事故対処訓練」が平谷黒木トンネル付近で行われました。全国的に発生している、トンネル内での大型観光バスの事故発生を想定。両県の関係団体が連携して、迅速な初動体制と連絡通信体制を強化しました。



←両県の役割を明確にし、迅速な対応に当たります

県境の安全を両県で守る